

茨城県图画工作・美術教育研究部研究調査委員会 授業実践研究報告（令和元年8月）

研究テーマ	自分の思いやイメージを楽しみながら表す木版画指導の工夫 ー小学4年「ほってすって見つけて」の実践（導入の工夫）を通してー
-------	---

常陸大宮市立大宮小学校 教諭

I 研究テーマについて

小学校学習指導要領における图画工作科の目標は「表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基本的な能力を培い、豊かな情操を養う。」とあり、それをうけ茨城県学校教育指導方針では「感じ取る力、自分なりのイメージをもつ力の育成」が努力事項として挙げられている。具現化するための取組に「じぶんなりのイメージを基に、材料や用具を十分に用いながら、様々な表し方を工夫したり」とある。彫刻刀という新たな用具を使うことを楽しみにしている児童に、彫刻刀を扱う基本的な技能を身につけさせて彫りの楽しさを味わい、そこから思いついた彫りの工夫を木版画に表すことを通して自分らしい表し方ができると考え、この研究テーマを設定した。

II 研究の実際

1 題材名

「ほってすって見つけて」

2 題材の目標

感じたことや想像したことなどを木版画に表すために、彫刻刀の扱いに慣れ、木版画の特徴を理解し工夫して表す。

3 題材について

(1) 児童（生徒）の実態

第4学年 23人

質問内容	調査結果			
図工の時間は好きですか。	①好き 16人	②ふつう 4人	③あまり好きではない 3人	④きらい 0人
③, ④と答えたわけ	・絵がうまくかけないから			
	・上手に作れないから			
	・めんどうだから			
カラー紙版画や、もようを写す紙版画は楽しかったですか。	①楽しかった 21人	②ふつう 2人	③あまり楽しくなかった 0人	④楽しくなかった 0人
今までに彫刻刀を使ったことがありますか。	はい 0人	いいえ 23人		
彫刻刀を使うのは楽しみですか。	はい 23人	いいえ 0人		

(2) 題材観

本題材は、児童が日頃の生活で印象に残ったことなどを思い出したり、想像したりしたことなどを基に、木版画に表す題材である。初めての木版画の学習であるので、児童はイメージがつかみにくく、また彫刻刀を使うことへの戸惑いなどもあると思うが、木版画の技法

の特徴を知り、彫刻刀の扱いに慣れることで、多様で意外性のある新たな表現方法を知ることができ、自分のもつイメージを表現する新たな表現方法に興味と喜びを感じができる題材だと考えた。

(3) 指導観

学習指導要領の内容の取り扱いと指導上の配慮事項（6）材料や用具では、材料や用具を使ったり生かしたりする経験を重ねながら、児童がそれらの適切な扱いに慣れるようにすることとして「第3学年及び第4学年においては、木切れ、板材、釘、水彩絵の具、小刀、使いやすいのこぎり、金づちなどを用いること。」が挙げられ、小刀の項では、彫刻刀も含まれることが示されている。調査からも分かるが、児童は図工の時間を楽しみにしている一方、自分のイメージ通りに表現することの困難さを抱えていることもうかがえる。本学級は全員が彫刻刀を使うのは初めてで、未知の刃物に期待を持っている。そこで、彫刻刀との出会いを大切にしたい。また、彫刻刀の安全で正しい使い方を身につけることで彫る感触を楽しむとともに自分の思いを表現していくことの楽しさを味わわせたい。そして、児童の発達段階に合わせた「楽しさ」を感じられるような活動に配慮したい。

4 題材の評価規準

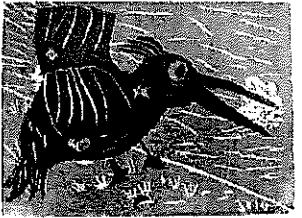
関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
彫刻刀を使う活動を楽しみながら、木版画に表すことに取り組もうとしている。	日頃の生活で印象に残ったことを思い出したり、想像したりしたことなどを基に、版に表したいことを考えている。	彫る部分を考え、彫刻刀の特性を生かして版を作るなど、表し方を工夫している。	友人と制作過程での気付きを話したり、できた作品を見せ合ったり、話し合ったりしながら、表現のよさや工夫を感じ取っている。

5 指導と評価の計画（7時間扱い）

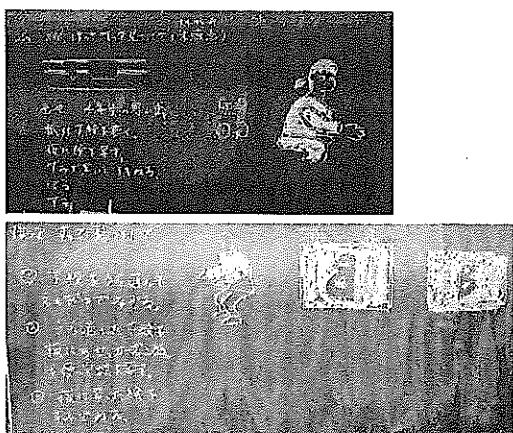
時間	学習内容・活動	評価規準・【評価方法】
第1次 ②	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の作品や参考作品例を見て、木版画の表現について話し合う。 彫刻刀で板を彫って版に表すことができる事を知る。 彫刻刀の種類とその種類ごとに彫り跡の違いや扱い方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 彫刻刀を使う活動を楽しもうとしている 【発言・活動の様子】 刃の形による彫り跡のちがい、刷った感じのちがいやおもしろさを感じることができる。 【活動の様子】 正しく安全な彫刻刀の使い方に興味を持って活動している。 【活動の様子】
第2次 ④	<ul style="list-style-type: none"> 版に表したいことを考える。 下絵を描いて彫る部分を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しかったことや、印象に残ったことなどを描くことができる。 【活動の様子】 白くなる部分と黒くなる部分の配置やバランス、彫り跡を考えて描くことができる。 【活動の様子・作品】

	<ul style="list-style-type: none"> ・彫る部分を考え、彫刻刀の特徴を生かして版を彫る。 ・インクの量や、ローラーの使い方を考えて刷る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・彫刻刀の特徴を考えて、効果的な彫り方を考えている。【活動の様子・作品】 ・彫る部分を考え、彫刻刀の特徴を生かして版を彫るなど、工夫している。 <p style="text-align: right;">【活動の様子・作品】</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・刷った紙の裏側から絵の具で色を塗る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色のバランスを考え、彫った部分に絵の具で色をつけることができる。 <p style="text-align: right;">【活動の様子・作品】</p>
第3次	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友達の作品のよさや工夫に気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・彫りや刷りの感じのおもしろさ、友達と自分の表し方のちがいやよさに気付いている。【発言・ワークシート】

6 指導の実際

活動内容	教師の働きかけ	児童の反応
木版画の作品を見てみよう (教科書の作品、図工室にある資料から)	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の作品を拡大印刷して掲示し、細かい部分もよく見えるようにする。 ・一つ一つ気づいたことを話し合う。   <p>・彫ったところが白くなっている、彫らないところは黒くなることを確認させる。</p> 	<p>・版画だ。版画だ。</p> <p>・白黒だね。</p> <p>(ハート)</p> <p>・大きいハートがかわいいね。星もあるよ。</p> <p>・こういうマークもできるんだね。</p> <p>・太い線や細い線があるよ</p> <p>(キャンプ)</p> <p>・外が黒で中が白だね。</p> <p>・中の人の手がよくわかるね。</p> <p>(ねこ)</p> <p>・ねこだ。鈴に突進してるよ。</p> <p>・しまもようだね。顔がかわいいね。</p> <p>(すもぐり)</p> <p>・自分が真ん中だね。</p> <p>・顔が大きくていいね。</p> <p>・白いところは彫ったところなんだね。むずかしそう。</p> <p>・インクをつけるのが楽しみ。</p> <p>・色もつけられるんだね。</p> <p>・彫刻刀で彫るのって楽しそう。</p>

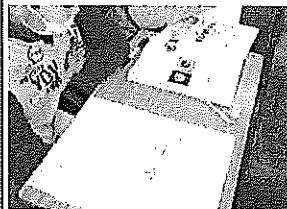
下絵をかこう



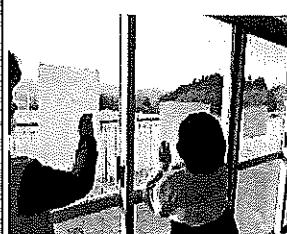
- 紙には反対向きに写ることを図で示す。

下絵に墨をぬろう

- 黒くする部分に墨を塗るように指示する。



- ぼくを真ん中に
でつかくかいた
よ。

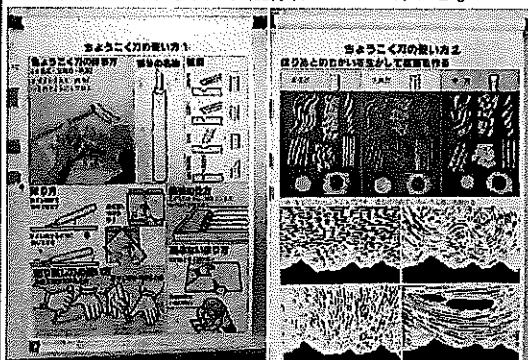


- 裏側から鉛筆で
しっかりなぞろ
う。

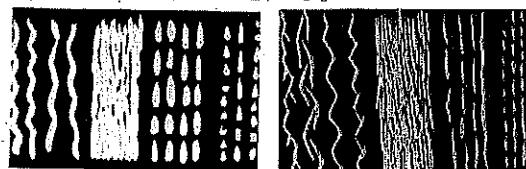


彫刻刀で彫ってみよう

- 彫刻刀の持ち方や種類について知る。



- 彫りあとのちがいを知る。



まる刀

三角刀



平刀

- わあ、何本もあるね。

- 先がちがっているね。

- 同じ形でも丸刀と三角刀と平刀では、見た感じが変わるね。

- 持ち方や姿勢がむずかしそうだね。

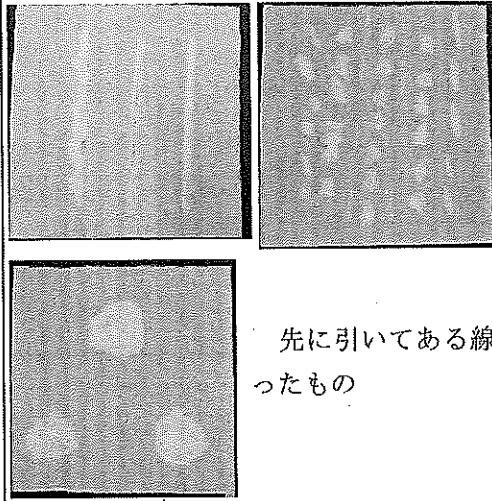
- どの彫刻刀をつかうかで、彫ったあとがちがってくるんだね。

- どの線にするかまようね。

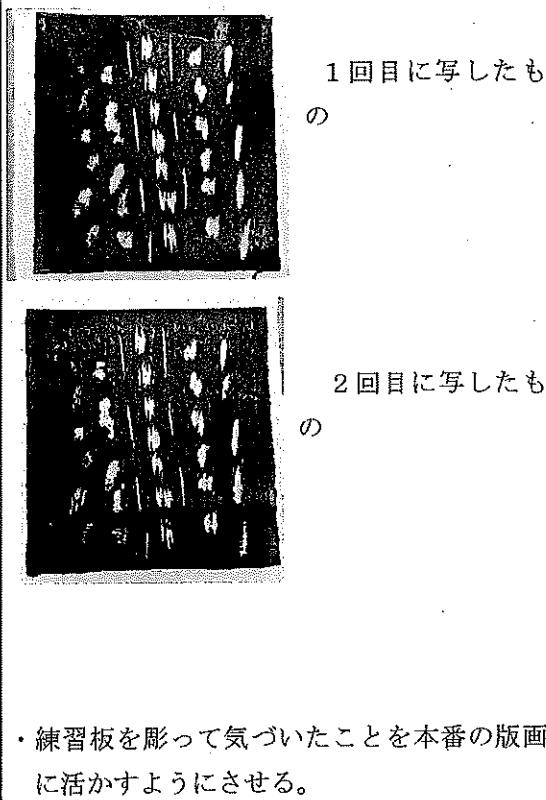
- 太い方がはっきり見えるね。

- 平刀はめくっていくかんじだね。

- ・小さい板に影ってみる。
- ・10cm×10cmの板（版画と同じもの）
- ・最初は線を引いたものを影り、後からは児童が自分で線を引いたものを影るようにする。

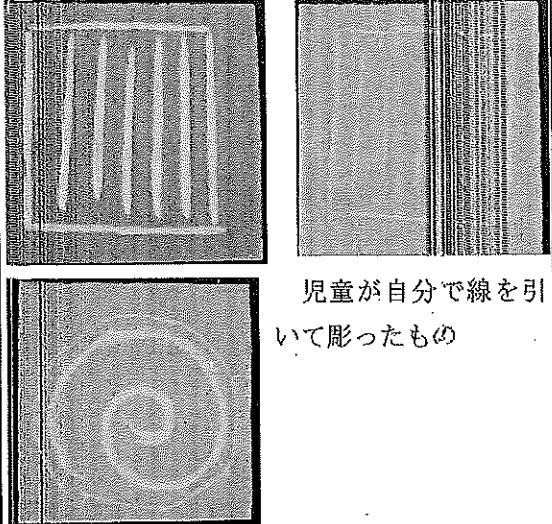


- ・彫刻刀の角度にも気をつけさせる。
- ・渦巻きは板を回して影るように指導する。
- ・板にインクをつけて紙に写す。
- ・インクのつけ方で写る影り跡が違ってくることを気づかせる。

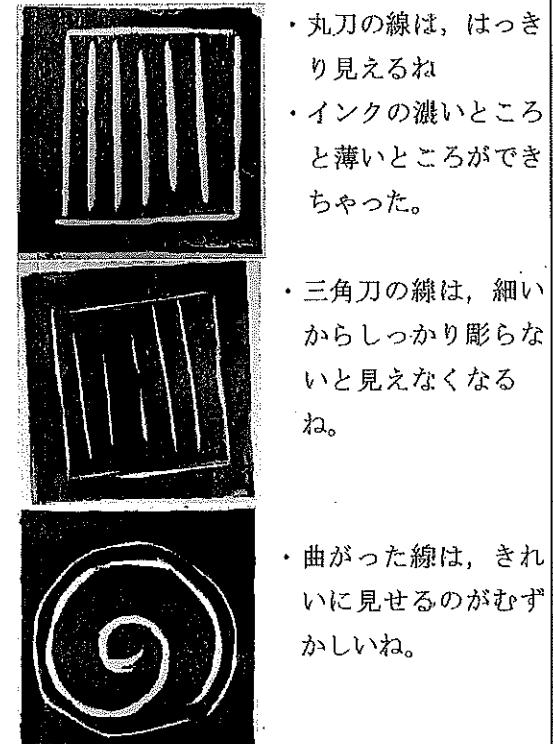


- ・練習板を影って気づいたことを本番の版画に活かすようにさせる。

- ・本番じゃないから緊張しないね。
- ・ミニサイズだからすぐできるね。
- ・おさえやすいよ。



- ・彫刻刀を少し倒すようにすると前に進みやすいよ。
- ・影ったところにインクが入りこんじやつた。
- ・ローラーの向きもよく見ないと、変に写っちゃうね。



- ・丸刀の線は、はつきり見えるね
- ・インクの濃いところと薄いところができるやつた。

- ・三角刀の線は、細いからしっかりと影らないと見えなくなるね。

- ・曲がった線は、きれいに見せるのがむずかしいね。

III 研究の成果と課題

1 成果

質問内容	調査結果			第4学年	23人
彫刻刀を使った版画はどうでしたか。	①楽しかった、おもしろかった ③楽しくなかった	18人 0人	②ふつう	5人	
彫刻刀はうまく使えましたか。	①使えた ③使えなかった、むずかしかった	4人 7人	②ふつう	12人	
作品にはどの彫刻刀を使いましたか。	①丸刀と三角刀と平刀 ②丸刀と三角刀			3人 20人	
自分が思ったような作品になりましたか。	①よくできた ③あまりできなかった	13人 2人	②だいたいできた ④できなかった	8人 0人	

自分の思いやイメージを彫刻刀を使って表現するために、導入でいくつかの作品を鑑賞したり映像教材を見たりしたことで「はやく彫刻刀を使いたい」という意欲を高めることができた。また本番前に扱いやすいサイズの板で彫刻刀で彫る体験をしたことで、自分で彫った彫り跡を確認でき本番の版画に抵抗なくスムーズに入ることができた。嫌がらずに楽しみながら彫り進めることができた。彫刻刀を使うことは抵抗なくできたが、「うまく使えなかつた、難しかった」とあるように思ったような彫りの表現ができず、「だいたいできた」「あまりできなかった」と答える児童が4割以上になったことがわかる。

これらのことから、彫刻刀を初めて使うにあたり、導入で彫刻刀の魅力や扱い方等を理解する時間を十分とりさらに不安をなくす工夫を加えたことで、最初の意欲を仕上げまで維持できることがわかった。

2 課題

導入段階で時間がかかってしまったので、予定時間で進められるよう改善していきたい。また、自分の思いやイメージが作品に反映できたかどうかはまだまだ十分とは言えないので作品の題材設定やイメージを活かす彫刻刀の選択等、一人一人の児童の思いに寄り添う指導の工夫改善を図りたい。

※参考資料

- 「小学校学習指導要領解説 図画工作編」文部科学省 平成20年
- 「平成30年度学校教育指導方針」茨城県教育委員会
- 「図画工作教科書」「図画工作教科書 指導書、DVD教材」（日本文教出版）